



歯のはなし

歯の黄ばみや
治療あとが気になって...

「思い切り笑えない女性」
が半数以上!

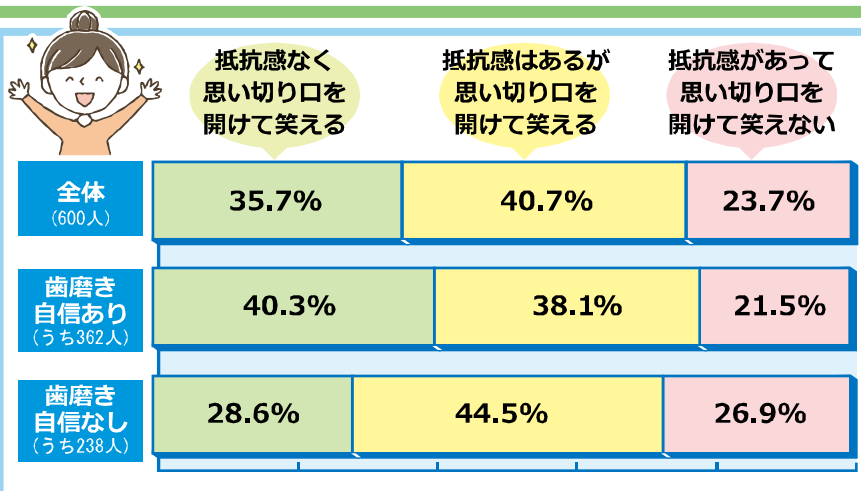
人前で口を開けて大笑いすることにあなたは抵抗感がありますか？ 洗剤や化粧品などの日用品販売を行うP & G(本社/神戸市)が30~50代の女性600名を対象に実施したオーラルケア実態調査によると、6割以上の方が口を開けて笑うことに抵抗感があると答えたそうです。

そこで今回は、このアンケート結果をもとに、多くの女性が抱えているお口のお悩みについてご紹介します。



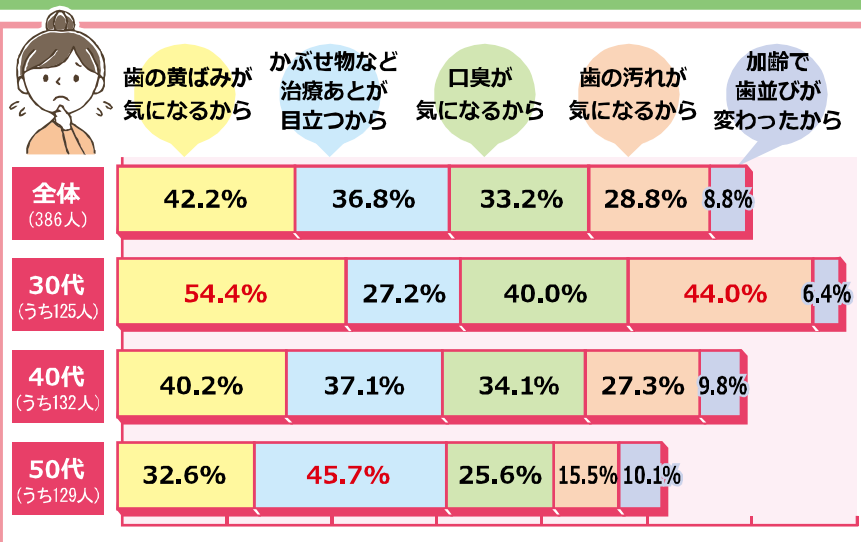
調査1 思い切り口を開けて笑うことができるか？

人前で「抵抗感なく、思い切り口を開けて笑える」と回答した人は35.7%で、残りの約6割以上の方は抵抗感があるという結果でした。ちなみに、「歯みがきに自信がある人」よりも「自信がない」と回答した人の方が、より抵抗感が強いという結果になりました。歯みがきをはじめとしたお口のケアをしっかりと行っていると、人前でも自信をもって笑顔を見せられるということなのでしょう。



調査2 口を開けて笑うことに抵抗感がある理由は？

また、口を開けて笑うことに抵抗感があると答えた386人にその理由を尋ねたところ、「歯の黄ばみ」「かぶせ物などの治療あと」「口臭」「歯の汚れ」が上位に挙がりました。特に30代では歯の黄ばみや汚れ、50代では治療あとが気になるなど、年齢によっても悩みに違いがあるようです。以上の理由から思い切り口を開けて笑えないというのは、とても残念な結果です。しかし、このようなお口のお悩みの多くは歯科医院で定期的にケアをしたり、ご相談をいただければ解決できるものばかりです。



調査3 年を重ねても思い切り笑えているか？

思い切り笑う頻度については、「5年前と比べて減った」と回答した人は21.2%、「10年前と比べて減った」と回答した人は28.5%と、年齢が高くなるにつれて笑う頻度が減っているようです。笑うことには免疫力アップや認知症予防など体に良い影響があるとされています。高齢になってもたくさん笑っていられるために、笑顔に自信を持ち続けたいですね。

歯を見せた笑顔には、「心を開いてくれている」と相手に印象づける作用があるそうです。心と心の距離が近くなれる満面の笑み。歯とお口をしっかりケアして、ステキな笑顔を目指しましょう!

